



2月号 令和6年1月31日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

新年がスタートしたところですが、はや1か月が過ぎ、明日より2月になります。水仙の花も咲いて陽ざしがあると暖かいと感じられる日もありますが、一年で最も寒い時季とされています。しかし、暦の上では「春」。2月4日には立春を迎えます。わずかですが日が延びて、夕暮れも遅くなっていることを実感しています。

少しずつ春を感じるころ、学校では来年度の準備が始まっています。先日も新入学児童保護者説明会が行われ、入学に向けての説明をいたしました。今回は、PTAを始め、民生児童委員、プラザ鶴が台、つるの子ども会の方がパンフレットを配布しお話ししてくださいました。学校関係機関とつながることも大切にしていきたいと思っています。これから新1年生のお子さんや保護者の方は、新入学の準備を始めます。不安もあると思いますので、ご近所に新1年生がいましたら、子どもたちも保護者もつながっていただけるとありがたいです。よろしくお願いたします。

2月は、今年度の教育活動のまとめとして大切な時期であるとともに、中学校への進学や新しい学年への進級に向けた準備の時期でもあります。教職員も、結束力をより一層高め日々の教育活動に努めていきます。引き続き、保護者及び地域の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。



インフルエンザにご注意を！

昨年秋より地域ではインフルエンザの流行が見られ心配していましたが、本校ではそれほど蔓延しませんでした。しかし、これから寒さ本番。空気の乾燥も加わり、インフルエンザの流行が懸念されます。引き続き、うがいや手洗いをするはもちろんですが、十分な栄養の摂取や睡眠時間の確保など健康管理をお願いします。子どもたちが、毎日元気よく登校してくることを願っています。

学校運営協議会（コミュニティースクール）

今年度より学校運営協議会を設置し、鶴が台小学校はコミュニティースクールとなっています。現在、2回の会議を開いています。また、11月1日、1月15日には、「地域を知ろう①②」ということで、会長である小室様に講師となっいただき、座学ならびに鶴が台の昔を学び説明をうかがいながら地域を巡りました。今後の協議会の活動については、よりよい学校運営を行うことを念頭に置き、学校・地域・保護者が強くつながり、子どもたちの教育活動を支えるためにできることは何かを模索しながら進めていきたいと思っています。

学年行事より



【2年生 お雑煮づくり】

自分たちで育てた野菜「ラディッシュ」を入れて、お雑煮を作りました。白玉も上手にこねて、柔らかくおいしい団子になりました。出汁のきいたおいしいお雑煮ができあがり、みんな喜んで食べていました。

【3年生味噌づくり】

鶴嶺の熊澤さんに教えていただき11月に大豆と麴と塩で仕込んだ味噌が熟成され出来上がりました。一人ずつ袋に材料を入れて、混ぜてこねて仕込んだものです。教室中いい匂いが立ち込めていました。家に持ち帰って、お味噌汁にしたという子もいました。

【5・6年生 ソフトボール教室】

日立サンディーバで活躍している4名の選手が講師となって、ソフトボール教室を実施しました。野球で球速160kmと同じくらいの体感と言われるソフトボール110kmの投球を目の前で見せていただきました。好きなことを極める先輩を、身近に感じられるひとときでした。

